

## 14. 長岡京市における小学生を対象としたワークショップ

廣野 勝

### 1. ワークショップの概要

2023年8月に「長岡京市の歴史発見！謎解きアドベンチャー」と題した長岡京市域の小学生を対象としたワークショップが開催された。本ワークショップは長岡京市文化財保存活用課主催のもと、凸版印刷が運営、アルパックが企画、京都府立大学の学生が参加協力という形で実施された。

京都府立大学側の参加者

上杉和央（教員）、花尻千秋（博士前期課程2回生）、上田龍摩・大串香織・永田秀悟・西真歩・廣澤俊祐（4回生）、廣野勝・山下悠衣奏（3回生）

2023年8月5日 10:00～11:30 「長岡京市のまちの歴史文化を知ろう」

2023年8月6日 9:30～11:45 「まちの探検にでかけよう！」

2023年8月8日 10:00～11:45 「自分だけの探検の記録をつくろう」

### 2. ワークショップの準備と内容

ワークショップ実施に先だち、7月11日に学生も参加して巡検が実施された。巡検終了後にはまち探検の実施方法について学生で話し合い、まとめた意見をオンライン会議で発表した。学生の意見も一部採用される形でワークショップの具体的な計画が作成された。

ワークショップ1日目は上杉先生による講話があり、小学生が長岡京市の歴史や文化についての理解を深めた。また、運営側で用意していたいくつかのまち探検のコースを小学生に選んでもらった。

2日目は前日に小学生に選んでもらったルートごとにまち探検を実施した。小学生が真剣に話を聞いたりメモを取ったりクイズに答えたりしている姿が印象的であった。また、当日は猛暑であったが、大きなトラブルなく終了することができた。

3日目はまち探検で学んだことをもとに小学生一人一人が新聞を作成した。新聞に書く内容、分量、写真の選定、装飾といったことを考えながら自分だけの新聞を各々作成していた。新聞が完成した時はとても嬉しそうであった。

#### 編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

---

京都府立大学文学部歴史学科

## フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2

---